



- 1 実践報告等について
- 2 道徳教育の意義
- 3 これからの道徳科の授業づくり



1 実践報告、演習協議について

令和6年度 本県道徳教育の重点目標	
教育活動全体を通じて行う道徳教育	カリキュラム・マネジメントによる道徳教育の充実
「主体的・対話的で深い学び」のある授業	道徳教育の要となる道徳科の授業改善
組織的・計画的に全教師で進める道徳教育	道徳教育推進教師を中心とした体制づくり



1 実践報告、演習協議について

内容
実践報告（指定地域・指定校）及び協議 「組織的・計画的な道徳教育の推進に向けて」
演習・協議 「各校の校内研修、各市町道徳教育推進協議会の充実に向けて」 ～道徳教育アーカイブを用いた校内研修の在り方について～
実践報告（指定地域・指定校）及び協議 「道徳教育の要としての道徳科の指導の充実に向けて」 第1分科会「多様な指導方法の工夫」 第2分科会「カリキュラム・マネジメントの観点からの工夫」



＞三次市立八次中学校区の実践

児童生徒の道徳性を養う道徳学習プログラム

講演の
後半で!

- (1) 学校行事と関連付けたプログラム
- (2) 生徒会、児童会、地域資源を活用したプログラム

3 礼儀の発達段階

	目標	キーワード
低学年	気持ちのよい挨拶、言葉遣い、動作などを心掛けて、明るく接すること。	・挨拶 ・言葉遣い ・動作 ・明るく接する
中学年	礼儀の大切さを知り、誰に対しても真心をもって接すること。	・礼儀の大切さ ・真心
高学年	時と場をわきまえて、礼儀正しく真心をもって接すること。	・時と場 ・礼儀正しく ・真心
中学校	礼儀の意義を理解し、時と場に応じた適切な言動をとること。	・礼儀の意義 ・時と場に応じた適切な言動



＞三次市立八次中学校区の実践

②要となる道徳科の充実

具体的な取組

発達の段階に沿った内容の深まりある記述

自分との関わりで考える児童生徒の振り返り

→ポートフォリオ化して自己の成長を実感ができるように



＞高等学校における道徳教育

高等学校学習指導要領 第1款の2の(2)

道徳教育は、教育基本法及び学校教育法に定められた教育の根本精神に基づき、生徒が自己探求と自己実現に努め国家・社会の一員としての自覚に基づき行為しうる発達の段階にあることを考慮し、人間としての在り方生き方を考え、主体的な判断の下に行動し、自立した人間として他者と共によりよく生きるための基盤となる道徳性を養うことを目標とすること。

18歳選挙権

18歳成人



広島県立御調高等学校

広島県立大柿高等学校

＜今年度のまなびのとびらの取組＞

様々な地域活動

- カフェのメニューを考え提案（地域探究）
- オーリーブ収穫
- 高齢者対象マスマ教室
- マリアドベンチャー（カヌー・サップ）
- 地域清掃活動
- 地元事業所のPR（津島織物・沖山工房・さとうみ科学館）
- 子ども食堂の手伝い

地域の方の願いに触れる

地域に在ること、役立つことの実感

→何を大切に生きていきたいか？



➤ 第一分科会「多様な指導方法の工夫」

- ・ 呉市立広南中学校区
 考え、議論する道徳科の授業づくり
- ・ 大竹市立小方中学校区
 「主体的・対話的で深い学び」を促す多様な指導方法の工夫
- ・ 江田島市立三高中学校区
 主題・教材解釈からはじめる道徳科の授業

『小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』

学習指導要領第3章の「第2 内容」は、教師と児童（生徒）が人間としてのよりよい生き方を求め、**共に考え、共に語り合い、その実行に努めるための共通の課題**である。学校の教育活動全体の中で、様々な場や機会を捉え、多様な方法によって進められる学習を通して、児童（生徒）**自らが調和的な道徳性を養う**ためのものである。



➤ 第二分科会「カリキュラム・マネジメントの観点からの工夫」

- ・ 海田町立海田中学校区
 教育資源の活用と組織的な取組の充実
- ・ 熊野町立熊野東中学校区
 道徳性を育むカリキュラム・マネジメントの実際
- ・ 世羅町立世羅西中学校区
 道徳科を要とした教育活動の推進～コミュニティ・スクールの活用を通して～



➤ 第二分科会「カリキュラム・マネジメントの観点からの工夫」

道徳教育の全体計画の軸

学校教育目標



道徳教育の**重点**目標



重点内容項目



➤ 第二分科会「カリキュラム・マネジメントの観点からの工夫」

内容項目	国語	...	数学	...	学校行事
自主、自立、自由と責任	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇
...	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇
思いやり、感謝	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇
...	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇
遵法精神、公德心	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇
...	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇
生命の尊さ	〇〇〇〇		〇〇〇〇		〇〇〇〇



➤第二分科会「カリキュラム・マネジメントの観点からの工夫」

内容項目	国語	...	数学	...	学校行事
自主、自立、自由と責任					
...					
思いやり、感謝	○○○○○ ○○○○○		○○○○○		○○○○○ ○○○○○
...					
遵法精神、公德心					
...					
生命の尊さ	○○○○○ ○○○○○		○○○○○		○○○○○ ○○○○○

詰め込み過ぎない → 重点内容項目に力点を置く



- 1 実践報告等について
- 2 道徳教育の意義
- 3 これからの道徳科の授業づくり



日本のAI信仰に哲学者が思うこと ChatGPT熱が高まる国で

関西外国語大学准教授 戸谷洋志さんへのインタビュー記事から

——チャットGPTが急速に浸透しています。どんな功罪があると思いますか。

「チャットGPT=悪」とするとわかりやすいですが、現時点ではそこまで言うことができません。…(中略)…それよりも、チャットGPTに多くを求める社会の問題、私たちの問題が大きいと思います。

——どうということでしょうか。

まず、「立ち止まって考えたくない」「速く答えがほしい」という非常に強い潜在的な欲望が私たちの中にあります。

チャットGPTは、質問を入力して回答が寄せられるまで数分かかることがあります。それが遅く感じるというネット上の記事を見かけました。

その数分も待てないのは、さすがに度が過ぎるのではないのでしょうか。考える間もなく次の答えがほしいという強迫観念が社会の中に巣くっています。

(朝日新聞デジタル2023年5月24日付)



「速く」「分かりやすく」で単純化する社会

覆う不寛容と遠のく対話

翻訳家・文藝評論家 鴻巣友季子さんへのインタビュー記事から

分かりやすい答えを求める人も多い。小説などの読者レビューにはしばしば、「作者が何を言いたいのかわからない」と書かれます。たぶん昔から同じような思いを抱く人はいたのですが、誰もが情報発信できるようになり、「とりあえず答えが欲しい」という欲求が可視化された。そんな様子を見ていると、答えを決めないで耐える、わからなさを耐えることは、とても精神力がいるのだと感じます。

複雑なものを複雑なまま受け止められない社会では、物事は単純化され、短時間に善悪や正しさが決まります。とたんに「お前が悪い」という攻撃になる。

…(中略)…

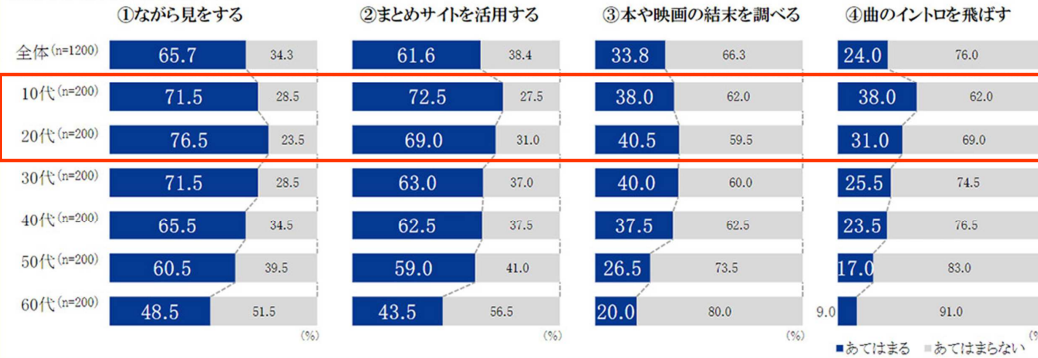
わからなさや違和感を抱えながら、ぐるぐると回るだけで答えは出なくとも、他者と長い時間をかけて話すのが対話のはずです。そういう土壌が失われ、不寛容が覆っている。その中で追い詰められる人たちが増えていくのではと懸念しています。



セイコー時間白書2023

[図4] タイパ重視行動の実態

Q. 次の行動であてはまるものは?



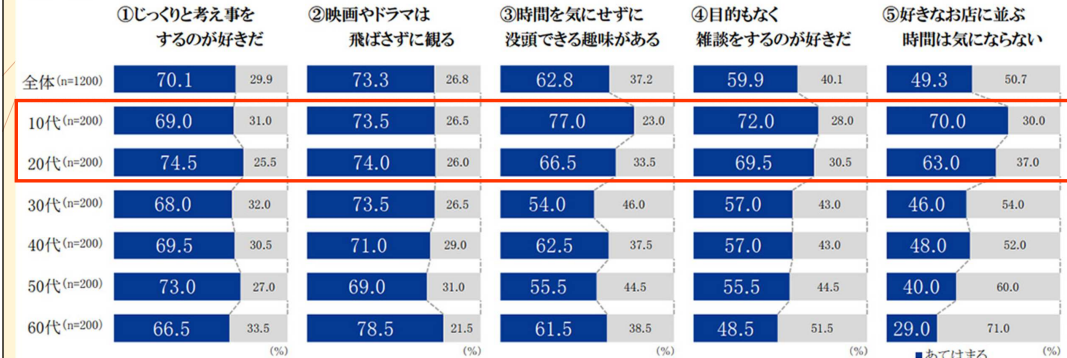
(<https://www.seiko.co.jp/csr/stda/archive/2023/>より)



セイコー時間白書2023

[図7] 時間の使い方・行動

Q. 次の行動であてはまるものは?



(<https://www.seiko.co.jp/csr/stda/archive/2023/>より)



日本のAI信仰に哲学者が思うこと ChatGPT熱が高まる国で

関西外国語大学准教授 戸谷洋志さんへのインタビュー記事から

——チャットGPTが急速に浸透しています。どんな功罪があると思いますか。

「チャットGPT=悪」とするとわかりやすいですが、現時点ではそこまで言うことができません。… (中略) …それよりも、チャットGPTに多くを求める社会の問題、私たちの問題が大きいと思います。

——どういことでしょうか。

まず、「立ち止まって考えたくない」「速く答えがほしい」という非常に強い潜在的な欲望が私たちの中にあります。

チャットGPTは、質問を入力して回答が寄せられるまで数分かかることがあります、それが遅く感じるというネット上の記事を見かけました。

その数分も待てないのは、さすがに度が過ぎるのではないのでしょうか。考える間もなく次の答えがほしいという強迫観念が社会の中に巣くっています。

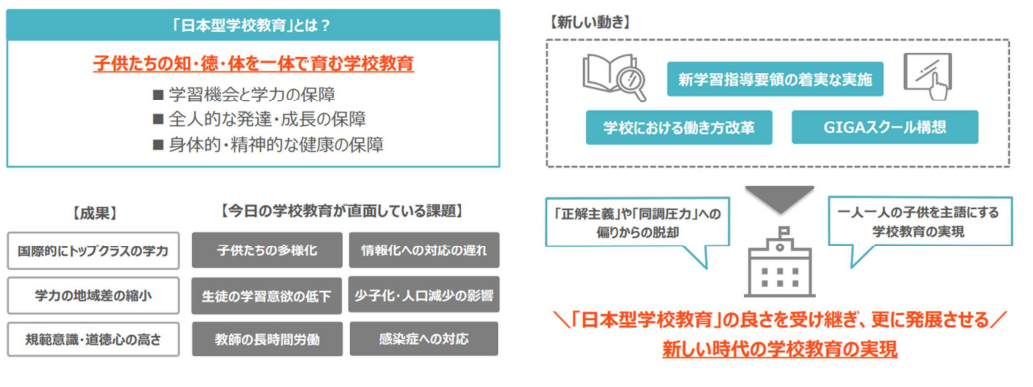
(朝日新聞デジタル2023年5月24日付)



中央教育審議会「令和の日本型学校教育」の構築を目指して（答申）【総論解説】



2. 日本型学校教育の成り立ちと成果、直面する課題と新たな動きについて



『小学校（中学校）学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』第1章総説

この答申を踏まえ、平成27年3月27日に学校教育法施行規則を改正し、「道徳」を「特別の教科である道徳」とするとともに、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領及び特別支援学校小学部・中学部学習指導要領の一部改正の告示を公示した。今回の改正は、いじめの問題への対応の充実や発達の段階をより一層踏まえた体系的なものとする観点からの内容の改善、問題解決的な学習を取り入れるなどの指導方法の工夫を図ることなどを示したものである。このことにより、「**特定の価値観を押し付けたり、主体性をもたず言われるままに行動するよう指導したりすることは、道徳教育が目指す方向の対極にあるものと言わなければならない**」、「**多様な価値観の、時に対立がある場合を含めて、誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢こそ道徳教育で養うべき基本的資質である**」との答申を踏まえ、発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の児童が自分自身の問題と捉え、向き合う「考える道徳」、「議論する道徳」へと転換を図るものである。



学習指導要領「前文」

これからの学校には、こうした教育の目的及び目標の達成を目指しつつ、**一人一人の児童が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となる**ことができるようにすることが求められる。このために必要な教育の在り方を具体化するのが、各学校において教育の内容等を組織的かつ計画的に組み立てた教育課程である。

教育課程を通して、これからの時代に求められる教育を実現していくためには、**よりよい学校教育を通してよりよい社会を創るという理念を学校と社会とが共有し、それぞれの学校において、必要な学習内容をどのように学び、どのような資質・能力を身に付けられるようにするのかを教育課程において明確にしながら、社会との連携及び協働によりその実現を図っていくという、社会に関わった教育課程の実現が重要**となる。



- 1 実践報告等について
- 2 道徳教育の意義
- 3 **これからの道徳科の授業づくり**



大阪のある中学校で

——道徳科の授業のどんなところが面白い？

S：考えることが面白い！

S₂：面倒くさいけど、考えるのは面白い！

——道徳科の授業のつまらないところは？

S：先生の話が長いこと！



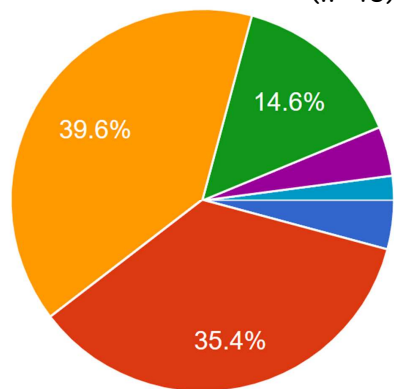
➤道徳教育の要としての道徳科

➤道徳科の特質を踏まえた学習指導



自校の道徳科は要としての役割を果たしていますか？

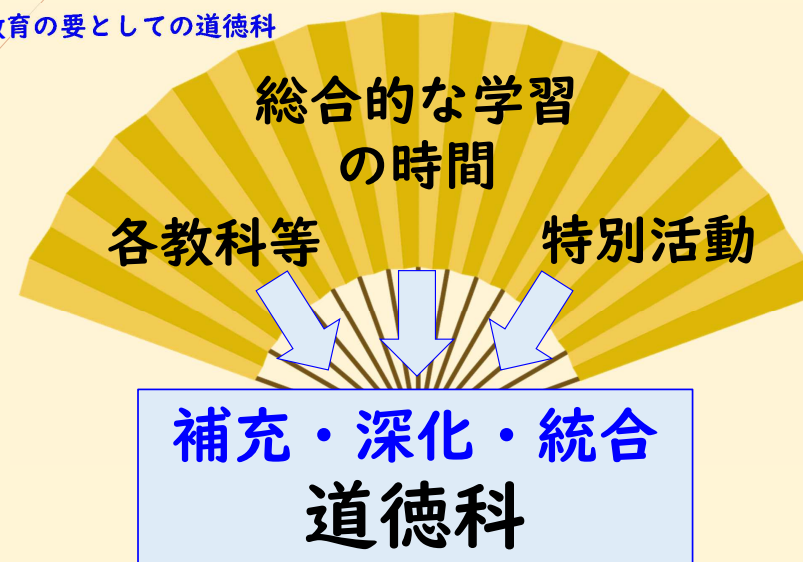
(n=48)



- 十分果たしている。
- どちらかというと果たしている。
- どちらとも言えない。
- どちらかというと果たしていない。
- ほとんど果たしていない。
- 要としての役割の意味がよく分からない。



➤道徳教育の要としての道徳科



小学校学習指導要領

道徳科が学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の要としての役割を果たすことができるよう、計画的・発展的な指導を行うこと。特に、

- ・各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動における道徳教育としては取り扱う機会が十分でない内容項目に関わる指導を補うこと【**補充**】
 - ・**児童や学校の実態等を踏まえて指導をより一層深めること【深化】**
 - ・内容項目の相互の関連を捉え直したり発展させたりすること【**統合**】
- に留意すること。
(中学校同旨)



広島県児童生徒学習意識等調査 児童生徒質問紙調査

小学校

内容	肯定的割合	
	R5	R4
道徳の授業は好きです。	79.5	80.0
道徳では、自分のことを振り返りながら考えています。	84.7	84.2
道徳の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	80.1	78.9
道徳の授業で勉強したことを、自分の生活に生かしています。	80.9	80.3

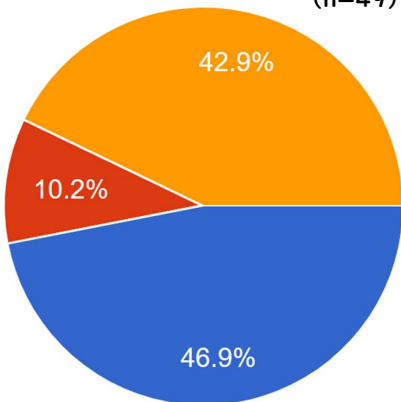
中学校

道徳の授業は好きです。	75.0	72.9
道徳では、自分のことを振り返りながら考えています。	84.5	83.6
道徳の授業では、友達と話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	85.7	84.0
道徳の授業で勉強したことを、自分の生活に生かしています。	77.6	76.1



道徳科の授業と学校行事等を
どのように関連付けていますか？

(n=49)



- どちらかという、行事などの**事前**的に道徳科の授業を行うことが多い。
- どちらかという、行事などの**事後**的に道徳科の授業を行うことが多い。
- あまり関連付けた授業を行っていない。



希望と勇気、
努力（克己）と強い意志

友情、信頼

運動会/体育祭など体育的行事

相互理解、寛容

よりよい学校生活、
集団生活の充実

道徳科で考えが深まっている？



『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』

また、児童は、各教科においてそれぞれの特質に応じて道徳性を養うための学習を行うが、各教科等の指導には各教科等特有のねらいがあることから、その中では道徳的価値の意味などについて必ずしもじっくりと考え、深めることができているとは限らない。道徳科は、このように道徳的価値の意味やそれと自己との関わりについて一層考えを深める役割を担っている。

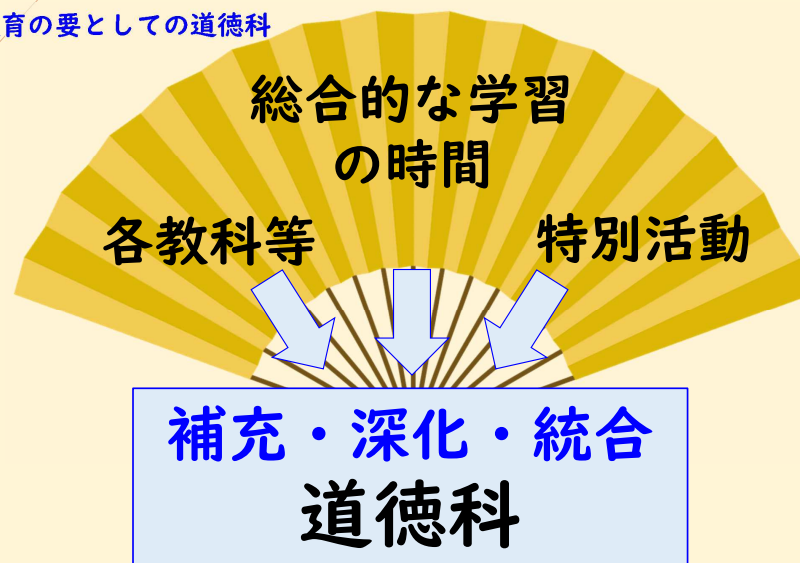
…(中略)…

このことを児童の立場から見ると、道徳科は、各教科、外国語活動、総合的な学習の時間及び特別活動などで学習した道徳的諸価値を、全体にわたって人間としての在り方や生き方という視点から捉え直し、それらを発展させていこうとする時間ということになる。

学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の指導の充実が、道徳科の指導の充実につながることを深く理解し、その要としての重要な役割を再認識して、計画的・発展的な指導を行うようにしなければならない。

(中学校同旨)

➤道徳教育の要としての道徳科



『小学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』

(2) 自己を見つめる

自己を見つめるとは、自分との関わり、つまりこれまでの自分の経験やそのときの感じ方、考え方と照らし合わせながら、更に考えを深めることである。このような学習を通して、児童一人一人は、道徳的価値の理解と同時に自己理解を深めることになる。また、児童自ら道徳性を養う中で、自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたりすることができるようになる。

『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』

(2) 自己を見つめる

中学校段階では、小学校において育成される道徳性の基礎を踏まえ、よりよく生きる上で大切なものは何か、自分はどのように生きるべきかなどについて、時には悩み、葛藤しつつ、生徒自身が、自己を見つめることによって、徐々に自ら人間としての生き方を育てていくことが可能となる。したがって、様々な道徳的価値について、自分との関わりも含めて理解し、それに基づいて内省することが求められる。

児童生徒は

- ・各教科等の授業の中で
- ・様々な行事等における体験活動の中で
- ・家庭や地域の中で

感じたり(心の揺れ)、考えたりしている

道徳科においては

これらの心の揺れ動きを踏まえた授業

が求められる。

➤道徳教育の要としての道徳科



『中学校学習指導要領解説 特別の教科 道徳編』

イ 道徳科と特別活動

特別活動は、道徳科の授業で学んだ道徳的価値の理解や人間としての生き方についての考えをよりよい学級や学校の生活や人間関係を築こうとする実践的な活動の中で実際に言動に表すとともに、集団の形成者としてのよりよい生き方についての考えを深めたり、身に付けたりする場や機会でもある。そして、生徒が特別活動における様々な活動において経験した道徳的行為や道徳的な実践について道徳科でそれらについて取り上げ、学級全体でその道徳的意義について考えられるようにし、道徳的価値として自覚できるようにしていくこともできる。さらに、道徳科の授業での指導が特別活動における具体的な活動場面の中に生かされ、具体的な実践や体験などが行われることによって、道徳的な実践との有機的な関連を図る指導が効果的に行われることにもなる。(小学校)



- 道徳教育の要としての道徳科
- 道徳科の特質を踏まえた学習指導



『小学校(中学校)学習指導要領』

第1 目標

よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を(広い視野から)多面的・多角的に考え、自己の(人間としての)生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。



第3 指導計画の作成と内容の取扱

- (3) 児童（生徒）が**自ら道徳性を養う**中で、**自らを振り返って成長を実感したり、これからの課題や目標を見付けたり**することができるよう工夫すること。その際、**道徳性を養うこと**の意義について、児童（生徒）**自らが考え、理解し、主体的に学習に取り組むことができるように**すること。



1 指導の基本方針

- (1) 道徳科の特質を理解する

道徳科は、児童（生徒）一人一人が、ねらいに含まれる一定の道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、**内面的資質としての道徳性を主体的に養っていく時間**である。このことを共通に理解して授業を工夫することが大切である。



(1) 道徳科に関する評価の基本的な考え方

評価に当たっては、特に、学習活動において児童（生徒）が道徳的価値やそれらに関わる諸事象について**他者の考え方や議論に触れ、自律的に思考する中で**、一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展しているか、道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかといった点を重視することが重要である。



自ら道徳性を養う
道徳性を主体的に養っていく
自律的に思考する

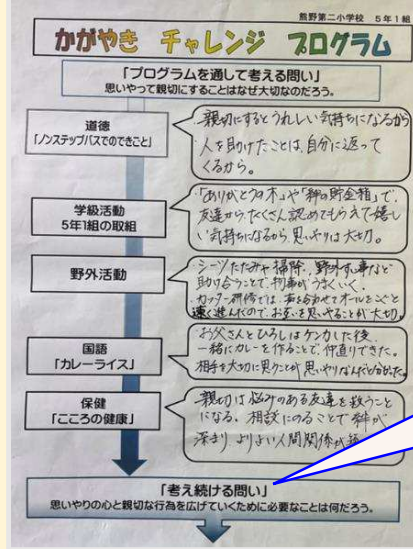
発問 と 問い返し

教師から児童生徒

児童生徒が相互に問い返し



熊野町立熊野東中学校区



児童生徒が
自ら立てた問い



演習・協議

「各校の校内研修、各市町道徳教育推進協議会の
充実に向けて」

～道徳教育アーカイブを用いた校内研修の在り方～

